

長野県白馬村議会

事績 1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

○議会基本条例に則して

平成 26 年 9 月に議会改革調査特別委員会を設置し、平成 27 年度に議会改革に関する村民抽出アンケート調査を実施し、民意の把握に努めた。平成 28 年度には、議会基本条例案に対する意見交換会の開催と、パブリックコメントを求め、幾度となる特別委員会と小委員会を重ね議会の責務と役割を明確に示した最高規範と位置付ける議会基本条例の制定に向け調査研究を行った。平成 29 年 4 月に議会基本条例を施行し議会運営に努めている。

○予算執行などの監視機能

予算・決算については、特別委員会を設置し全議員で審議を行っている。審議結果は、施策提言をはじめ指摘事項や要望を村に提出し、回答を求め、施策の進捗状況の監視を強化している。また、新年度予算編成にあたり関係機関・団体等との意見交換会等により、要望事項等の把握に努め、村長へ政策提言や、要望事項等を提言し、より充実した事務事業の要求を行っている。

○議員懇談会と閉会中の常任委員会の開催。

議員懇談会を開催し、新規事業（交付金事業等）の概要等を各担当課及び関係機関から説明を求め、制度や進捗状況及び諸課題等を取り上げ、共通認識と議論を深めている。また、閉会中の継続調査として、常任委員会独自での研修として、必要に応じて関係行政担当者から事業の説明と進捗状況を把握している。常任委員会として関連する事業等を独自に現場視察及び他市町村へも独自に視察研修を実施し研鑽に努めている。

○村課題施策の調査研究

当村として課題となっている、図書館施設等基本構想策定（複合施設）に先駆け、議員研修による県外先進地視察をはじめ、担当する常任委員会でも近隣市町村の現状把握と調査研究を進めている。その他観光地 B C P 計画の策定及び道の駅構想等の課題施策の調査の進捗状況等を確認し、独自でも調査研究を行っている。

○議会運営のペーパーレス議会への研修

議会・行政に浸透するタブレットと ICT 活用に向けての研修会を、議会が外部講師を招へいして、行政側執行部への参加を呼び掛けて実施した。

○村民の声を直接議会へ

平成 29 年 3 月定例会に議会基本条例が制定され、6 月定例会からは、委員会において請願・陳情の審議に希望する者から直接、趣旨説明をいただいている。また、本年 5 月には、「白馬村議会請願及び陳情取扱要綱」を策定し、村議会ホームページに陳情・請願について審査の流れ、書き方（例）、趣旨説明の実施方法等をアップしている。

事績2 住民に開かれた議会

○平成22年から白馬村シニアクラブ（老人クラブ）との懇談会をはじめとして、婦人組織、商工会、区長会、民生児童委員等の村内各関係機関との意見交換を実施している。

平成29年度からは、白馬村議会基本条例に基づき村民との意見交換会を開催し、身近な議会を目指してグループ別に議会活動や村の事業についてテーマ別に課題や要望事項等をお聞きしている。そこで出た内容を議会で取りまとめ、村への要望事項として提言し、その回答を、議会だよりへ掲載して広報している。また、議員の一般質問等で取り上げるなどの活動へ繋げている。

○議会中継の公開

平成23年4月からケーブルテレビ白馬開局以降、定例会及び臨時会の本会議を中継し、傍聴に来ることのできない村民の方々への便宜を図っている。

○傍聴者への資料配布等

傍聴者への会議資料のほか、一般質問の内容を公開し、資料配布し、質疑応答の共有を図り、また、聴こえの弱い方への傍聴席には要約筆記席を配置している。

○議会からの情報発信

村のホームページ上に白馬村議会として、議会だより、会議録も併せて掲載し情報発信を行っている。会議録はホームページでの掲載のほか、議案書と共に調整し冊子体として保存している。

議会だよりは、議会報調査編集特別委員会を設置し、議員7名による編集委員会を構成し、定例会期ごと年4回発行している。

「読みやすく・見やすく・分かりやすい議会報」を目ざして編集に取り組んでいる。定例会での一般質問の概要と議案審議や臨時会の報告のほか、閉会中の委員会活動や研修会報告等も掲載している。シリーズ「わたしのひとこと」は村民からの投稿により好評を得ている。記事の内容は勿論、編集構成や色彩、活字の大きさ等読者目線での編集に心掛けている。

事績3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

○白馬村は、国際的な観光地としての地位を確立できるよう村づくりを進めています。毎年5月に行われている「塩の道祭り」への参加をはじめ、6月の白馬岳開山祭、8月の夏祭り、9月の村民運動会、11月の文化祭や12月の合同スキー場開き等の観光イベントをはじめ村民との交流の場には積極的に議員が参加して、観光客へのおもてなしと、村人との接点を心掛けて、イベントを盛り上げている。

○平成26年11月22日の長野県神城断層地震には、被災地での情報収集と要望の取りまとめを始め、災害対策本部を設置した白馬村役場に訪れた各種の関係者を村民ホールで総合案内（コンセルジュ）として、村の災害対策本部・避難所・ボランティアセンター等への対応として関係者へ繋げることができた。

○村では毎年行っている地域役員懇談会には、関係する議会議員が一緒に参加し、地区役員をはじめとする住民からの意見要望を直接聞くことで、より身近な問題として、親密感と応援する体制としての対応が図られている。